

情報公開文書

研究課題名	経口第3世代セファロスポリン系薬の使用届出制と 抗菌薬適正使用推進チーム活動に伴う抗菌薬適正使用プログラムの 評価を検討する後方視的介入研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 薬剤部・感染管理室 氏名 加藤 智之
研究期間	承認日 ～ 令和2年 12月
研究の意義・目的	世界的な耐性菌の蔓延は我々人類の脅威となっています。2015年にWHOより薬剤耐性菌に対する計画策定が求められたことにより、2016年には本邦でも薬剤耐性（AMR, antimicrobial resistance）対策アクションプランが決定されました。この中で抗微生物薬の適正使用については、2020年に2013年比で経口抗菌薬の使用量の50%減少等が成果指標とされています。武蔵野赤十字病院では、AMR対策アクションプランに先立ち、経口第3世代セファロスポリン系薬の適正使用を推進しており、2017年より同系統薬の使用届出制を開始しました。経口抗菌薬による使用届出制に関する報告は少なく、経口抗菌薬の新しい適性使用の管理プログラムであり、有効な手段として検討されるべきものであると考えます。また2018年より開始した抗菌薬適正使用推進チーム（AST, antimicrobial stewardship team）の介入対象薬とするべき対象とも考えられます。そして、国策であるAMR対策アクションプランに寄与することができます。
研究の方法 (対象期間含む)	単施設での後方視的調査研究となります。2013年から2020年の間に、武蔵野赤十字病院で経口第3世代セファロスポリン系薬を処方された患者さんです。該当患者さんのカルテから以下の情報を調べさせていただきます。 (対象期間：2013年1月～2020年12月)
①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む) ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用するものの範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称	①臨床情報は匿名化された情報を管理・解析する。他機関への提供は行わない。 ②患者背景に関する情報としては、年齢、性別、感染症名であり、限定的な個人情報だけを扱うのみです。治療に関する情報として、a)細菌学的検査の提出有無とその内容、および検出菌とその薬剤感受性、b)基礎疾患、c)処方された抗菌薬名、用法用量、投与期間、抗菌薬の選択理由、d)処方診療科、e)使用届出の提出状況。 ③臨床情報の利用は研究計画責任者、分担研究者、および研究補助者の計6名とする。 ④情報の管理は研究責任者の加藤（下記参照）が行う。
問合せ先	当研究に自身の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 薬剤部・感染管理室 氏名 加藤 智之 TEL：0422-32-3111（代表）6812（事務局内線）FAX：0422-32-3525